

Drug Information News (2025 年 12 月)

八尾市立病院 医薬品情報管理室



1. 八尾市立病院の医薬品採用状況(2025 年 10 月薬事委員会承認分)
2. 自主回収報告関連情報:クラス II(医薬品)

1. 八尾市立病院の医薬品採用状況(2025 年 10 月薬事委員会承認分)

【採用医薬品】(院内・院外ともに処方できます。)

- イノソリッド配合経腸用半固形剤
- モノヴァー静注 1000mg

【特定患者用医薬品】(原則、在庫していません。事前に薬剤科への連絡が必要です。)

- ジャイパーカ錠 100mg・50mg
- ブルキンザカプセル 80mg
- ラズクルーズ錠 80mg・240mg
- ライブリバント点滴静注 350mg
- アウイクリ注 フレックスタッチ総量 300 単位
- アダリムマブ BS 皮下注 80mg ペン 0.8mL「CTNK」
- イブグリース皮下注 250mg オートインジェクター
- テブダック点滴静注用 40mg
- ナノゾラ皮下注 30mg シリンジ

【院外処方専用医薬品】(院外処方でのみ処方できます。)

- カナリア配合 OD 錠
- コタローきゅう帰膠艾湯エキス細粒
- ウゴービ皮下注 0.25mg ペン 1.0MD/同 0.5mg ペン 2.0MD/同 1.0mg ペン 4.0MD/同 1.7mg ペン 6.8MD/同 2.4mg ペン 9.6MD 【診療科限定:内分泌代謝・糖尿病内科、循環器内科】

【その他】(ワクチン)

- シングリックス筋注用:帯状疱疹ワクチン

【採用区分変更】:院内・院外両採用 ⇒ 院外のみ採用へ

- グリクラジド錠 40mg「サワイ」 (【般】グリクラジド錠 40mg(一般名処方)へ)
- ノボラピッド 30 ミックス注フレックスタッチ

【メーカー変更】(同一成分・同一含量)

- フロセミド注 20mg「トーワ」 ⇒ フロセミド注 20mg「NIG」
- ファモチジン注射液 20mg「トーワ」 ⇒ ガスター注射液 20mL
- ファスジル注 30mg「KCC」 ⇒ エリル点滴静注液 30mg
- メトクロプラミド注 10mg「タカタ」 ⇒ メトクロプラミド注 10mg「NIG」(予定)
- コンスタン錠 0.4mg ⇒ アルプラゾラム錠 0.4mg「アメル」
(院外処方、【般】アルプラゾラム錠 0.4mg(一般名処方))
- セフカペンピボキシル塩酸塩錠 100mg「SW」⇒ セフカペン ピボキシル塩酸塩錠 100mg「SW」(販売名変更)
- セフジトレンピボキシル塩酸塩錠 100mg「SW」⇒ セフジトレン ピボキシル塩酸塩錠 100mg「SW」(販売名変更)
- パラシクロビル顆粒 50%「SPKK」 ⇒ バルトレックス顆粒 50%

【採用区分変更】(診療科限定:内分泌代謝・糖尿病内科、循環器内科) (院外処方専用医薬品)

- ゼップバウンド皮下注 2.5mg アテオス/同 5mg/同 7.5mg/同 10mg/同 12.5mg/同 15mg

【その他:名称変更】(院外処方専用医薬品)

- フルナーゼ点鼻液 50 μ g 28 噴霧用 ⇒ 【般】フルチカゾンプロピオン酸エステル点鼻液 50 μ g 28 噴霧用(一般名処方)

【採用取り消し】(院内・院外ともに処方できません。)

- ラコール NF 配合経腸用半固形剤 (イノソリッド配合経腸用半固形剤へ入れ替え)
- ウゴービ皮下注 0.25mgSD・0.5mgSD・1.0mgSD・1.7mgSD・2.4mgSD(外)
(ウゴービ皮下注 MD へ入れ替え)
- カナリア配合錠(外) (カナリア配合 OD 錠へ入れ替え)
- アリナミン F 注 100 (販売中止)
- ジギラノゲン注 0.4mg (販売中止)
- ズファジラン筋注 5mg (販売中止)
- ジゴシン注 0.25mg (販売中止)
- ワゴスチグミン注 0.5mg (販売中止)
- リゾピスト注 (販売中止)
- アリナミン注射液 10mg (販売中止)
- キシロカイン注射液「2%」エピレナミン(1:80,000)含有 (使用量減少)

★Drug Information★

医薬品名（メーカー）	薬効・一般名	薬価（規格単位）	申請診療科
イノソリッド配合経腸用半固形剤 （大塚製薬工場）	<薬効>たん白アミノ酸製剤 <一般名>経腸成分栄養剤 (12)半固形剤	¥14.40(10g)	NST(栄養サポートチーム)

【効能・効果】

一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。

【効能又は効果に関連する注意】

本剤を術後に投与する場合、胃、腸管の運動機能が回復し、水分の摂取が可能になったことを確認すること。

【用法・用量】

通常、成人標準量として1日900～1,500g(900～1,500kcal)を胃瘻より胃内に1日数回に分けて投与する。投与時間は100g当たり2～4分(300g当たり6～12分)とし、1回の最大投与量は600gとする。また、初めて投与する場合は、投与後によく観察を行い臨床症状に注意しながら増量して数日で標準量に達するようにする。

なお、年齢、体重、症状及び栄養状態により投与量、投与時間を適宜増減する。

【薬効薬理/栄養効果】

胃瘻カテーテルを留置したラットを用い、本剤の栄養効果を対照薬(ラコール NF 配合経腸用半固形剤)と比較検討した結果、剖検日体重、器官重量(肝臓、腎臓、脾臓、脂肪組織)、屠体重量、血液生化学指標(アルブミン、トリグリセリド、総コレステロール)、窒素出納、生物価及び窒素保留率に差は認められなかったことから、本剤は対照薬と同様の栄養効果を有すると考えられた。

【特徴】

本製品は、日本人の食事摂取基準(2020年版)を参考に、三大栄養素、ビタミン、微量元素をバランスよく配合した半固形状の経腸栄養剤です。維持エネルギー量の低い患者さんの栄養管理にも配慮し、900kcalの摂取で1日に必要なビタミン、微量元素の推奨量または目安量をほぼ充足できるように設計しています。脂質代謝に必要なL-カルニチン※1を配合しており、さらに、食物繊維源としてイヌリン※2も配合しています。

一般的に固形物は液体に比べて胃からの排出が遅く、食道への逆流が起こりにくいと言われており※3、近年、胃瘻からの半固形経腸栄養剤の投与が普及・浸透しています※4。そのような背景から、2014年には、医薬品として本邦初となる半固形経腸栄養剤である「ラコール®NF 配合経腸用半固形剤(以下、「ラコール半固形剤」)」を上市されました。しかし、ラコール半固形剤は1,600kcalの摂取で1日に必要なビタミン、微量元素の推奨量または目安量をほぼ充足できるように設計しており、近年、医療現場からは、維持エネルギー量の低い患者さんの栄養管理にも配慮した製品が望まれていました。

※1 L-カルニチン(L-Carnitine):脂質のエネルギー産生において重要な役割を果たす微量栄養素。

※2 イヌリン(inulin):ゴボウや玉ねぎ等に多く含まれる水溶性食物繊維であり、甘味料や添加物としてさまざまな食品に使用されています。

※3 矢本真也,他:JSPEN,2019;1(3):134-9

※4 名徳倫明,他:薬局薬学,2022;14(1):8-14

★Drug Information★

医薬品名（メーカー）	薬効・一般名	薬価（規格単位）	申請診療科
アウイクリ注 フレックスタッチ 総 量 300 単位 (ノボ ノルディスク)	<薬効>週 1 回持効型溶解 インスリンアナログ注射液 <一般名>インスリン イコデ ク(遺伝子組換え)キット	¥ 2,081 (300 単位 1 キ ット)	糖尿病内科

【効能・効果】

インスリン療法が適応となる糖尿病

【用法・用量】

通常、成人では、1 週間に 1 回皮下注射する。初期は通常 1 回 30～140 単位とし、患者の状態に応じて適宜増減する。他のインスリン製剤を併用することがあるが、他のインスリン製剤の投与量を含めた維持量は、通常 1 週間あたり 30～560 単位である。但し、必要により上記用量を超えて使用することがある。

【薬効薬理/作用機序】

本剤の主な薬理作用は、グルコース代謝の調節である。本剤は、他のインスリン製剤と同様にインスリンレセプターに結合し、骨格筋及び脂肪細胞における糖の取り込みを促進し、また肝臓におけるグルコース産生を阻害することによって血糖値を降下させる。さらに、脂肪細胞における脂肪分解及び蛋白質分解を阻害し、蛋白質合成を促進する。

本剤の半減期延長作用は、主に本剤がアルブミンと可逆的に結合することによる。本剤は投与後に血漿中に移行した後、血中のアルブミンに結合することで活性を示さない状態となり、その後、緩徐にアルブミンと解離し、インスリンレセプターと結合することで、血糖降下作用が持続する。

【特徴】

アウイクリ注 フレックスタッチ総量 300 単位は、ノボ ノルディスク社が開発した週 1 回投与型の持効型インスリンアナログ製剤です。この製剤は、従来の 1 日 1 回基礎インスリン製剤と比較して、1 本あたり 0.43mL に 300 単位、すなわち高濃度の 700 単位/mL で調製されているため、血糖コントロールに必要なインスリン単位数に対して注射液の体積を大幅に削減できる点が特徴です。

投与は、1 回の調整は 10 単位での操作が可能です。週に 1 回、1 回の皮下注射で基礎インスリン補充を行い、患者の注射頻度を減らすことでアドヒアランスの向上が期待されます。初回の開始用量は 30 単位から 140 単位の範囲で設定され、患者の血糖コントロール状態に応じて慎重に用量調節を行います。

臨床試験では、類似の基礎インスリン製剤と比較して血糖コントロールの持続性が確認されており、患者の服薬負担軽減と血糖管理の安定化に寄与することが期待されています。この製剤の特性を十分理解し、他のインスリン製剤からの切り替えに伴う用量の換算や血糖モニタリングの徹底、患者への使用方法の的確な指導を行うことが重要です。

アウイクリ注 フレックスタッチ総量 300 単位は、インスリン療法の利便性と安全性向上を図った新しい週 1 回投与型の基礎インスリン製剤として、糖尿病患者の治療に貢献しています。

2. 自主回収報告関連情報:クラス II(医薬品)

(1)

【商品名】コンスタン 0.4mg 錠・コンスタン 0.8mg 錠

【一般名】アルプラゾラム

【効能効果】心身症(胃・十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、自律神経失調症)における身体症候並びに不安・緊張・抑うつ・睡眠障害

【製造販売業者】T's 製薬株式会社 (2025 年 08 月 31 日までの製造販売業者の名称:武田テバ薬品株式会社)

【回収開始日】2025 年 10 月 8 日

【対象ロット】D0287・D0288:PTP100 錠包装(9,352 箱・9,360 箱)

【回収理由】本製品(0.4mg:ロット JA031、0.8mg:ロット JA011)の 100 錠 PTP 包装品の長期安定性試験(25±2℃/60±5%RH) 24 箇月時点の類縁物質試験における不純物について、自主規格を上回る結果となった。なお参考品については、何れの包装規格においても自主規格を満たしていた。これを受け、安定性試験の予備検体を用いて試験を実施したところ、同様に自主規格を上回るロットが散見されたことから、有効期間内の全ロットを自主回収することとなった。

(2)

【商品名】エフィエント錠3.75mg

【一般名】プラスグレル塩酸塩錠

【効能効果】○経皮的冠動脈形成術(PCI)が適用される下記の虚血性心疾患

急性冠症候群(不安定狭心症、非 ST 上昇心筋梗塞、ST 上昇心筋梗塞)

安定狭心症、陳旧性心筋梗塞

○虚血性脳血管障害(大血管アテローム硬化又は小血管の閉塞に伴う)後の再発抑制(脳梗塞発症リスクが高い場合に限る)

【製造販売業者】第一三共株式会社

【回収開始日】2025 年 11 月 4 日 :情報提供の開始

2025 年 12 月 12 日:印字不具合製品の回収開始予定日

【対象ロット】TDA0249~TDA0257、TDB0253、TDA0260 等

【回収理由】本製品の対象ロットにおいて、PTP シートに印刷されている調剤包装単位のバーコードを読み取ると、製品は正しいものの、異なる製品(リクシアナ錠 15mg)が表示されることが判明した。なお、個装箱のバーコード、製品の品質には問題がないことから、服用による健康被害が発生することはないと考えているが、医療関係者における混乱を招く恐れがあると判断し、自主回収した。